

あげな 安慶名周辺交通拠点整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

地域の特徴等

- 安慶名地区は、地区北側の市役所から、エリアのシンボルとして整備が進められているヌーリ川公園予定地を含む一帯に、商業施設や公共施設等が複合的に集積し、背後には良好な住環境と高等学校も数校立地しているなど、多様な都市活動、交流、賑わいの中心拠点として位置づけられている。また、沖縄本島中南部都市圏の北側に位置することから、那覇を出発する長距離路線バスの多くが安慶名を經由するなど、公共交通の要所となっている。
- その立地ポテンシャルを活かして、広域交通結節点として誰もが便利に公共交通を利用できる環境を整備し、観光利用における公共交通の利用促進や歩いて暮らせるまちづくりを推進することで、エリア価値の向上が期待されている。

うるまし

【調査箇所：沖縄県うるまし市】

位置図



(1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)

本市における交通施策の取組開始

- H31.3「うるまし市交通基本計画」を策定し、安慶名周辺を広域交通結節点に位置づけ
- R2.3「うるまし市総合交通戦略」(大臣認定申請中)を策定し、安慶名周辺交通拠点の整備を短期戦略へ位置づけ
- R3 安慶名地区を中心とした新たな市内交通の検討調査

(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- 民間バス事業者がバス停留所の集約と併せたバス路線の再編検討、バス待合スペース等の整備(令和6年度~)
- 通り会(地元商店連合会)がスタンプラリー等の賑わい創出イベントの実施(令和3年度~)
- PPP/PFI事業による公益複合施設の整備・管理運営(令和6年度~)

密接な
関連性



(3) 基盤整備の必要性(現状の課題等)

- 分散している停留所を集約したシームレスな乗り継ぎ環境を整備するとともに、公益複合施設や広場の賑わいの場となる施設整備が必要。
- バス走行環境改善のため、右折帯設置等の交差点改良による基盤整備が必要。

(4) 【調査内容】

- バスターミナル、公益複合施設、緑地広場の概略設計、整備効果検討、基本計画の策定等
- 既存交差点改良概略設計
- 公益複合施設のPPP/PFI導入可能性検討

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- 商業施設等の立地促進や公共交通の利用者の増加、エリアの賑わい創出による経済効果

うるまし市交通基本計画 (将来公共交通ネットワーク)